

第 10 回 市民福祉常任委員会 概要報告

年 月 日	令和2年11月4日	会場	よろーな会議室	案件	所管事項の調査
出席委員	高野美枝子、東川孝義、東千春、川村幸栄、倉澤宏、五十嵐千絵				
委員外議員					
欠席委員					

審査及び報告事項

今委員会は、名寄市町内会連合会、中村雅光会長他役員をお招きして、『高齢者福祉と各町内会の取り組みに関する意見交換会』を開催しました。

これは、かねてから当委員会が自主的に協議を重ねている、メインテーマとして「高齢化社会における健康寿命の延伸について」、サブテーマは「フレイルを予防して健康寿命の延伸を実現」の推進に向けて、名寄市内の実態を把握することをねらいに開催したものです。

意見交換会に入る前に、①テーマに取り組んだ背景、②現在までの取り組み状況、③令和元年度名寄市福祉サービス事業等の実績（抜粋）、④町内会ネットワーク事業の現状、⑤新型コロナウイルス感染症の影響による地域支え合い活動の展開について、概要説明を行いました。

意見交換会は、下記3点のテーマを中心に行いました。

- ① 町内会ネットワーク事業の取り組みについて
- ② フレイル予防に関する取り組みと要望事項について
- ③ コロナ禍における具体的対応と課題について

出席者からは、通常であれば地域の特性に合わせた活動を行っているが、今年は、新型コロナウイルス感染症の対応で殆どの事業を中止もしくは、内容を変更して実施しているとの事でした。

また、町内会役員の高齢化と役員の担い手不足に加えて、アパート、マンション等の未加入者が増加するなど町内会が抱えている共通課題をはじめ、コロナ禍における活動をどのように進めたら良いか、役員の皆様もストレスを感じているとの事でした。

一方、屋外での事業をはじめ、自宅にこもり切りになるお年寄りに参加をして頂くために、趣向を凝らした事業も行われており、町内会毎に心の通じ合った活動に期待を寄せるご意見も頂きました。

当委員会では、この意見交換会で頂いたご意見ご提言を踏まえて、テーマの取り組みについて先進地事例も参考にして、一定の方向付けを行い、行政に提言を行って行きます。

以上

報告者 市民福祉常任委員会 副委員長 東川 孝義